



9月の園だより

令和 7年 9月 1日

目黒区立不動保育園園長

今年記録を更新するほどの暑さでしたが、朝9時と早い時間からプールに入ることたくさん遊ぶことができました。今年の暑さは外気温が高くなり、暑さ指数よりも外気温が35℃を超えてしまうことが多くありました。毎年同じ暑さではないことを感じました。3歳児も少しずつ水に慣れていき、水しぶきを嫌がらずにプールに入る事が出来るようになり、水をかけあつて遊べるようになりました。4歳児は水を楽しめる子が多く、顔を付けることができる子もいて「すごいね」と声をかけました。5歳児の泳げるようになった子はけのびや、バタ足、等の泳ぎを見せてくれたり、水の中で目を開けることができたり、ラッコのように体の力を抜いて浮くことができる子が増えました。日々いろいろなことに挑戦し、頑張っている姿に子どもたちの成長を感じる事が出来ました。0.1.2歳児の水遊びでは、カップを使っての移し替えや、金魚すくい、洗濯ごっこ、水鉄砲等各々が好きな遊びを楽しんでいました。今年も残暑厳しいことが予想されるため水遊び、プール遊びを延長して遊んでいきたいと思っています。引き続き準備のご協力をお願いいたします。

10月の運動会に向けて3歳児から5歳児クラスは練習も始まり、縄跳びやダンスなど少し難しい事にも取り組み挑戦しています。0歳児から2歳児クラスも保護者の方々と一緒に踊れるように日々、演目に親しんでいます。お忙しいと思いますが参加をお待ちしています。



今月の予定

総合避難訓練

中旬 身体計測(全園児)
避難訓練(全園児)

～ おみせやさんごっこ ～

8月にお店屋さんごっこを行いました。全園児参加でお買い物を楽しみました。幼児クラスは各クラスでお店を出し、売ることも楽しみました。0歳児クラスでも自分で商品を選び、お金を出しても“やっぱりこっち”と選び変える姿もありました。1.2歳児クラスは自分の財布からお金を出して商品を買える心地よさにたくさんお金を出してくれる子もいました。お家での買い物の経験からお買い物のイメージは子どもたちであり、各々楽しめていたようです。



◀ 9月1日は防災の日です ▶

保育園では総合避難訓練を行います。子どもたちには、これから大きな地震が来るかもしれない事を伝え、避難訓練を行いそのまま保護者のお迎えを待っています。

保護者の皆様もお迎えの際にクラスで名前、続柄を保育士に伝えて訓練の参加をお願いします。職場等の変更がある方は、事前にお知らせください。ご理解ご協力をお願いいたします。

保育園の備蓄や飲料水、災害時に必要な生活用品などの紹介を玄関にさせていただきますが、ご家庭でも非常持ち出しバッグの確認や、避難場所、避難経路、誰が保育園にお迎えに行くか等を災害時に慌てないようにご家族で話し合っておくことも大切です。

保育園では毎月1日又は15日に伝言ダイヤルを実施しています。お時間のある時をお願いいたします。



楽しい室内遊び

《0歳児 スズラン組》

部屋にある重ねカップは、色々な遊び方ができる子どもたちもお気に入りの玩具です。保育士がカップを積んで高くしておくで崩すことが楽しくて繰り返して遊んだり、カップが転がっていき追いかけて手に取り床に打ち鳴らして遊んだりもしています。また、カップをコップにして「ゴクゴク」と飲む真似をする子どもたちもいます。「はいよー(どうぞ)」と自分が飲んだカップを保育士に渡し「ゴクゴク、美味しいね」と言葉を返されると「ね」と気持ちを通じ合い嬉しそうでした。保育士も一緒に様々な遊びを楽しむ中で一人ひとりの「楽しい」「面白い」思いに寄り添い、好きな遊びを見つけてじっくり楽しめる環境を整え関わっていきたいと思います。

《1歳児 チューリップ組》

ハンカチをマントのように身に着けてキャラクターショーごっこを楽しんでいます。ショーを始める前に「座るところ」と言いながらバック積み木を椅子のように並べお客さんの席を作ります。保育士や友達が席に座ると「ぴ」と音響のスイッチを押す真似をしてショーが始まります。いつもやっている体操や歌を元気いっぱい踊ったり歌ったりするといつものまにかお客さんで見ていた子どもたちも参加して一緒に踊りだします。声援を送ると嬉しそうに手を振り返したり、握手をしたりしてショーは大盛況です。見たものを再現したり友達のやっていることを真似したりして楽しみながら、一緒に遊ぶ楽しさをたくさん味わっていきたいと思います。

《2歳児 タンポポ組》

ままごとコーナーでレストランごっこが始まり、早速お客さんが座ると絵本をメニューに見立て「どれにしますか」とページをめくっていきます。先日幼児クラスのお店屋さんごっこに参加した時のことを思い出し、ブロックをマイクに見立てて「ピンポンパンポーン。レストランに来てください」と呼び込みをすると違う遊びをしていた子が来て「おいしいねえ」と盛り上がり「これもいかがですか」とお互い笑顔でやりとりを楽しんでいました。保育士や友達と一緒に、経験したことを再現する楽しさをこれからも味わっていきたいと思います。

～お店屋さんごっこの取り組み～



《3歳児 コスモス組》

お店の名前は何にしようかと話をすると、「ゾウさんがいい」という子が多く、「ゾウさんのピザ屋さん」に決まり、みんなでかわいい耳を付けてゾウになってピザ屋の売り子になりました。「ピザは何味にしようかな」と考えていると「お肉のせたい」「チーズも」「チョコは」などアイデアもどんどん出てきてイメージしながら折り紙や画用紙を素材に見立てて貼っていきました。初めてのお店屋さんでドキドキしながらも開店すると、次第に笑顔も増え、お客さんが「ooピザください」と言うと「ooピザ一枚です」と注文を受けたり、「じゅーじゅー」とピザ窯でピザを焼いたりと手際よく働く姿がありました。これからは友達とやりとりをして遊ぶことをたくさん楽しんでいきたいと思います。



《4歳児 マーガレット組》

何のお店にしようかと相談する中で売りたい物がたくさん出てきてしまい悩んでいると「コンビニエンスストアはどう」という意見が出ました。「いいね、色々な物が売ってるものね」とコンビニエンスストアを開店することに決めました。「選べるようにたくさん作らなきゃいけないけど平気」と聞くと「大丈夫」と頼もしい答えが返ってきます。たくさん作る中でも「これなら好きかな、わかるかな」とハートや星などの模様を描いたりしてお客さんが喜ぶ事を考えながら一生懸命作りました。当日は大きな声で「いらっしゃいませ」「どれにしますか」と積極的に声をかけ、やりとりを楽しんでいます。値段は「10円」と何とも良心的なお店なため、たくさん売れて嬉しそうなお客さんたちでした。経験したことを再現するために作ったり、友達と役割を分担したりする活動を楽しみながら進めていきたいと思います。

《5歳児 ヒマワリ組》

「お化け屋敷」を開店しました。どんなお化けにするか考えていく中でオリジナルの「たこやきおばけ」も作るようになりました。「たこやきおばけってどんなの？」という話から「たこやきをくれないと襲うおばけ」という話になり、「それなら他のお化けたちにも何かさせようよ」とアイデアを出し合うと「からかさおばけに入り口でお金を渡す」「ろくろくくびはマフラーを渡さないと言首が伸びる」「河童はきゅうりをくれないと襲う」などのアイデアがでて盛り上がります。当日泣いてしまう小さい子もいて「泣いちゃった！」と喜ぶ半面、お化けを引っ込めて手だけだしてバイバイするなど年長らしい優しい姿も見られました。一つの事を皆でやる中で意見を出し合い一緒にやり遂げる楽しさを味わえるように活動を進めていきたいと思います。

